

乙女高原ファンクラブ 2022年度

活動報告(ダイジェスト版) 2022.3.~2023.2.

■こんな1年間でした

1. コロナ禍ではあったが、活動は中止にすることなく実施できた。特に、乙女高原フォーラムを3年ぶりに開催することができた。
2. 1年間で47名の入会者があり、現在、総入会者数は808名。
3. 活動への参加者数はのべ597人(05年度:1200人, 06:1378, 07:1344, 08:1253, 09:1176, 10:834, 11:758, 12:590, 13:660, 14:630, 15:699, 16:846, 17:581, 18:775, 19:746, 20:233, 21:393)。
4. 毎月第一土曜日に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施7年目。
5. 環境省/日本自然保護協会:モニタリング1000里地里山調査ヤマアカガエル産卵調査は9年目。合計25腹(14年:35腹, 15:42, 16:29, 17:25, 18:35, 19:22, 20:22, 21:20)。
6. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示6年目。シーズン S29:スマイレ前編, S30:スマイレ後編, S31:マルハナバチ, S32:秋の花, S33:草刈, S34:新聞記事, S35:コケ。
7. 第23回遊歩道作りは予定通り5/15に行った。参加者73人。
8. 12年目となるスマイレ観察会は遊歩道作りの午後と6/4(黄色いスマイレハイク)に。
9. 6・8・9月と、年3回のマルハナバチ調査を実施。20年目。
10. 夏休みのボランティアガイド復活7年目。計6日間実施。
11. 高槻先生主導の「花と昆虫のリンク」調査を今年度は5~10月にかけて毎月実施。
12. 9月、高槻先生主導の植生調査を行った。8期目。
13. 昨年一昨年とできなかった笛川小5年生の自然観察学習を9月に実施。
14. 第21回草刈りボランティアは11/23を雨天延期し、11/27に実施。参加者103人。
15. 2年延期された第20回乙女高原フォーラムは1/29に「生態系スチュワードシップで草原を守る」をテーマとし、**鷲谷いづみ**さんをゲストに行った。参加者58人。
16. 次の団体から助成金を拝受した。
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), 富士フィルム/富士フィルム端数倶楽部(10万円), イオン石和/マックスバリュ東海(16,800円), 田丸グリーン基金(10万円)。
17. 計7回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催した。
18. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。鈴木さん・井上さんが編集, 芳賀さん・三枝さんが印刷, 発送を加藤さん・鈴木さん・芳賀さん・岡崎さんに。
19. メールマガジンを年31回配信した。500号を達成。ホームページを更新した。
20. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
21. 今年度内の乙女高原フェロー該当者は1名だった(総計23人)。
22. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業として実施。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたい。
23. 全国草原の里市町村連絡協議会「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた。
24. 11月に山梨県立大学にてファンクラブの活動について植原が講義を行った。
25. 来年度からスマイレ観察会は単に観察会として実施することとした。

■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2022

■ 3/13 2021年度定期総会



山梨市役所牧丘支所 2階集会室にて。参加者 16人(他に委任状による参加 122人)。山梨市長・高木様より祝辞をいただいた。コロナ感染防止のため、座談会は中止。

■ 4/2 交流会・カエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会による「モニタリング 1000里地調査・アカガエル産卵調査」への参画。3/21, 4/2, 4/17, 4/30の5日間調査。のべ 12人。合計 25の卵塊をカウントした。

■ 5/15 第23回遊歩道作り



3年ぶりに参加者を集めての遊歩道づくり。山梨市・山梨県・乙女高原ファンクラブが協働で企画運営。計 73人が参加。9:30-12:30

■ 5/22 スミレの観察会



14人。井上さんの指導でサクラ、タチツボ、エゾノタチツボ、ツボ、マンジュリカなどのスミレを観察。大窪山にも登り、アズマシャクナゲやワチガイソウの花を観察。

■ 6/4 黄色いスミレウォッチ



16人。黄色いスミレ・キバナノコマノツメの群生場所まで歩いた。シカが幹をはがした跡や動物の糞に集まるキマダラヒカゲなどを観察。乙女高原はレンゲツツジが咲き始めていた。8:30-15:00

■ 6/26 マルハナバチ調べ隊①



16人。半分は小学生。新たな乙女高原フェローの認定も行った。紙芝居によるマルハナバチの生態の説明は子どもたちがしてくれ、賑やかな観察会になった。ラインセンサス 7頭。いずれもトラマル。

■ 7/2 谷地坊主の観察会



6人。午前中から遠雷が聞こえたので急いで実施。マーキングしている谷地坊主の高さや幅などを計測した。

■ 7/23 遊歩道の草刈り



8人。夏休みに備え、遊歩道内に生えてきた草を刈り、歩きやすくした。草刈りの他、植物カードの付け替え、外来植物の抜き取りも行った。

■ 7/23-案内人夏の案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。6日間実施。もう1日計画していたが、花と昆虫のリンク調査に振り替えた。

■8/6 マルハナバチ調べ隊②



参加者 15 人。ラインセンサス調査を実施。トラ 10 頭、ミヤマ 4 頭、オオ 2 頭の計 16 頭。午後のまちぶせ調査は空模様があやしいので中止。

■8/11 花と昆虫のリンク調査



麻布大学高槻研究室/加古さんが 2013 年に行った調査を 2020 年から高槻先生中心に再開。遊歩道を歩き全訪花昆虫を記録。5-10 月まで毎月。のべ 43 人。

■9/2 笛川小 5 年観察学習支援



2020, 21 年と中止になった小学校の乙女高原自然体験学習。谷地坊主、草原満喫、ブナ爺コースに分かれて実施。コース散策後、自由散策の時間もとった。

■9/3 マルハナバチ調べ隊③



5 人。朝からパラパラ雨が降っていた。ラインセンサス調査 50 頭。ハンゴンソウに付いた虫こぶの観察が興味深かった。

■9/10 草原内植生調査



8 人。2015 年に設置した総延長 1 km のシカ柵が乙女高原の植生にどんな変化を及ぼすか調べるため、2015 年から毎年 1 回 9 月に実施。10 ポイントで調査。

■10/18 草原 100 選に選ばれる



乙女高原が「未来に残したい草原の里 100 選」の一つに選ばれ、東京農業大で行われた記念フォーラムに代表世話人 3 人で出席。

■10/26 秋の観光地美化清掃



焼山峠集合で行われた市の事業に 6 人が参加。林道の側溝のそうじなどに汗をかいた。

■11/23→27 第 21 回草刈りボランティア ※23 回目



3 年ぶりに一般募集しての草刈り。雨のため 27 日に延期したが、103 人の参加者があった。特に開会行事をしないで開始。記念写真後に急きょ閉会行事を実施。

■1/29 第 20 回乙女高原フォーラム



ゲスト：鷺谷いづみさん、テーマ：生態系スチュワードシップで草原を守る。コロナ拡大のため「3 回目の正直」で、ようやく今年度開催。58 人。

■乙女高原ファンクラブの歴史

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合主演『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）
2003.6 イタドリの刈り取り実験用コドラート設置
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
2011.5-6 3回のスマレ観察会を実施。
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマレ』を発行。
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確める刈り取り実験。
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。ヤマアカガエル産卵調査を開始。
2014.11※山梨ロータリークラブより乙女高原自然観察案内看板が寄贈される。
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会
2015.11※乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される
2019.1 おもてなしのやまなし知事表彰を受ける
2019.11 第20回草刈りを記念し13団体に感謝状と記念品贈呈。記念ステッカーを作成し、参加者に配布
2019.11※山梨ロータリークラブより谷地坊主看板が寄贈される。
2020-2021. 新型コロナウイルス感染防止のため、活動に様々な制限
- 2021.4 乙女高原ファンクラブ20周年** 2021.3 街の駅やまなしと山梨市民会館にて記念展
2021.10 恩賜林110周年記念式典にて感謝状を授与
2022.5~10 高槻先生主導の月例「花と昆虫のリンク調査」実施
2022.10※乙女高原が全国草原の里市町村連絡協議会の「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ